

MINAMI MADO

2024.11. No.51



独立行政法人 国立病院機構
大阪南医療センター

大阪南医療センター 循環器疾患センター



胸背部痛、呼吸困難、動悸等
循環器疾患が疑われる際には
緊急対応連絡先へご連絡ください。

24時間緊急対応 (ハートコール)

直通 TEL : 0721-53-3200



Instagramはこちら ▶



LINEはこちら ▶



患者さんの治療を栄養面からサポート、職員研修の一翼も担う
～栄養サポートチームの管理栄養士～



入院患者の栄養管理、栄養治療を行うことを目的に、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、言語聴覚士、MSW、管理栄養士により構成された栄養サポートチーム(NST)が活動しています。医療スタッフからの相談や外科手術におけるクリティカルパス、褥瘡保有者の患者さんを中心に関わっています。週1回、各病棟でNST回診を実施し、栄養治療が必要な患者さんについてカンファレンスを行い、最適な栄養治療ができるよう積極的に提案しています。

管理栄養士は、目標栄養量・現在の摂取栄養量の算出、栄養状態のアセスメント、患者さんに適した食事・経腸栄養メニューの提案をしています。また、院内職員を対象としたNSTミニ勉強会を定期的で開催し、知識とモチベーションの向上に努め、今年度から、NST認定教育施設としても活動しています。



患者さんに合わせた栄養管理で
QOL向上・苦痛緩和を目指す
～緩和ケアサポートチームの管理栄養士～

「食べる」ということは生きていくうえで欠かせないものであると同時に楽しみや喜びを感じることができる行為です。がん患者さんの中には食欲不振・味覚障害・嚥下機能低下などにより思うように食事が摂れないことが少なくありません。管理栄養士は患者個人に合わせた栄養管理や食事調整を行い、QOL向上や苦痛緩和に取り組んでいます。

〈取り組みの一部を紹介〉

- 残すのがつらい → 食事量を1/2量に減量して見た目の負担感を減らす
- 食べられるものが限られている → 補助食品(ジュース、ゼリー、アイスなど)や果物のみの提供
- 病院食は味が薄い、好きなものが食べたい → レインボー食(麺類やご飯ものなど食べやすさを考慮した選択メニュー)

〈TOPICS〉

緩和ケア病棟での取り組みとして「療養生活のなかで季節感を感じていただき、楽しみを持ってもらうこと」を目的に、入院中の患者さんを対象に今年度より「イベント食」を実施しています。



8月「カルピスゼリー」



10月「栗羊羹」